

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

直東学園ニュース

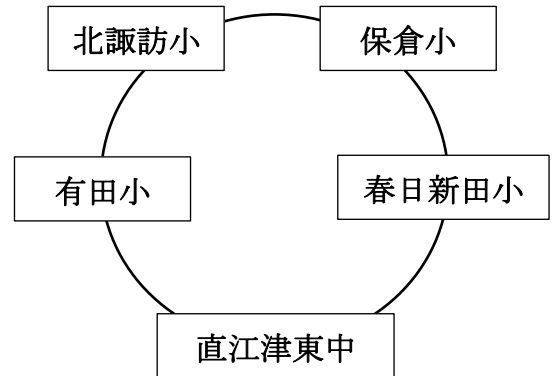
直江津東中学校区すこやかネットワークだより

令和8年度 第2号
令和8年6月25日発行
< 発行・編集 >
直東学園 事務局
〒942-0041
新潟県上越市安江 282-1
(上越市立直江津東中学校内)
TEL 025-543-2729
FAX 025-543-4150
E-mail: higashi-cs@jorne.or.jp

「すこやかネットワーク」とは？

直江津東中学校区には右図のように5つの学校があり、この5校がひとつになって「直東学園」がつけられています。

さらに、学園内5校の教職員が課題解決や学び合いに向けて、力を合わせるために作られた連携組織が「すこやかネットワーク」です。すこやかネットワークの組織と取組内容は下記のとおりです。



すこやかネットワークの組織と取組内容

すこやかネットワーク部長会 (直江津東中学校区校長会)

会長 直江津東中学校長 事務局 直江津東中学校教頭

キャリア教育部	生徒指導部	学力向上部	同和教育部
部長 春新小校長 副部長 春新小教頭 推進員 各校1名	部長 有田小校長 副部長 有田小教頭 推進員 各校1名 部員 各校養護教諭	部長 北諏訪小校長 副部長 北諏訪小教頭 推進員 各校1名	部長 保倉小校長 副部長 保倉小教頭 推進員 各校1名
<取組> ・郷土愛の育成を重点 取組とした単元構 成や授業の実践 ・キャリア教育の観点 による評価を行い、 分析・検討 ・キャリアパスポート の活用と改善、評価 ・マスコミ学習の実施 ・発達段階に応じた取 組	<取組> ・「リーダーシップ・ フォロワーシップ」 の育成 ・切れ目のない生徒 指導 ・定期的な情報共有と 協働 ・いじめ見逃しゼロス クール集会の運営 ・けんこうの日の推進 (養護教諭部会)	<取組> ・学校間授業研究交流 会 ・NRT、全国学調の 結果分析の共有 ・家庭学習の充実 ・規律ある落ち着いた 学習習慣づくり ・iPadの使い方のきま りの見直し ・6年生の春休み課題 の統一	<取組> ・直江津東中学校区同 和教育基底計画に 基づいた小中のカ リキュラムの連携 ・差別を許さない気持 ちを育成する同和 教育の推進と連携 ・家庭、地域と連携し た人権教育、同和教 育講話会や、講演会 の実践

【推進員】 各部各校1名…各部の主要構成メンバーとして部の取組の協議、具体的な取組の推進役を担う。

キャリア教育部会の取組

キャリア教育を中核にした小中一貫教育の推進は直東学園の重点目標です。

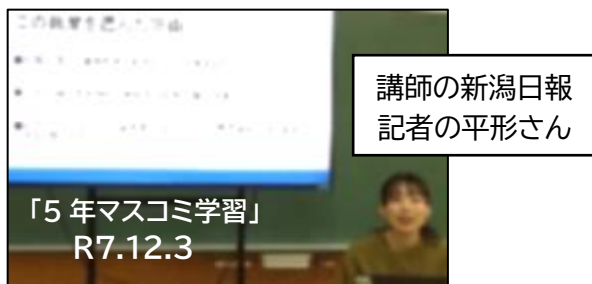
1 学校間連携の促進

・キャリア教育で育む資質・能力は次の5点。

- ① 人間関係形成力
- ② 自己理解・自己管理能力
- ③ 課題対応能力
- ④ キャリアプランニング能力
- ⑤ 郷土愛（⇒新潟県として強調）

これらの力を発達段階に応じてさらに具体的な内容にし、共通の育てたい資質・能力として取組を進めています。

- ・各校の特色ある実践を集約・紹介し、学校間連携による単元づくりを進めます。
- ・4小学校の児童が交流し学び合う、「マスコミ学習」（5年）を行います。



2 郷土愛の育成を目指した活動の推進

- ・学園支援本部の協力を得ながら、郷土愛の育成を重点取組とした単元構成や授業を実践していきます。
- ・実践記録シートを基に、学校間で情報交換を進めます。

3 多面的な評価と改善

- ・キャリア教育の観点による教職員評価を実施し、よりよいカリキュラムや授業実践になるように改善を図ります。

4 キャリア・パスポートの活用と改善

- ・令和5年度末に一部修正変更した様式を活用しながら、今後も改善していきます。

5アントレプレナーシップ教育の取組と検討

アントレプレナーシップ教育は、昔から起業家教育と訳されてきましたが、新潟県では「課題に挑戦するための姿勢と方法を学ぶこと」としています。

- ・発達段階に応じた実践について情報交換を行い、今後の取組について検討します。

生徒指導部会の取組

グローバルでますます多様化が進む社会の中でよりよい人間関係を結ぶことが必須となっています。他者の見方や考え方が異なること、そして、自分を見つめ、自分も他者も大切にできる姿勢が求められています。そうしたなかで主体性を発揮し、自分事とする意識や社会に貢献する意識を再生し、幸せを求める子どもたちの育成を目指します。

生徒指導部会では、相手を尊重した人間関係づくり、人間関係調整能力等を学ぶとともに、共によりよく生活するためのつながりを高め、小小連携、小中連携を図る以下の3点に取り組めます。

1 リーダーシップ・フォロワーシップの育成

各学校の規模や実態に合わせ、集団の中でリーダー、フォロワーとしての役割を果たし解決する活動に取り組めます。小学校では縦割り班活動や集会活動、中学校では生徒会活動や学年活動の充実を図ります。

2 小中5校の一層の連携と切れ目のない指導

定期的に担当者が集まり、子どものことについて情報共有し、協力し合って指導します。児童生徒のよさを見出し、そのよさを伸ばす指導を心がけます。また、「直江津東中学校区生活のきまり」の定着も図ります。

3 「いじめ見逃しゼロスクール集会」の充実

集会を通して一人一人が「いじめを絶対にしない、見逃さない」意識を高めることを目指します。今年度は、11月19日（木）に開催する予定です。集会には、小学校6年生と中学校1年生が参加します。



学力向上部会の取組

小中学校9年間を見通して、一貫した学びを念頭に置き、学力的な課題や授業改善の方向性を共有し、確かな学力を育成します。

1 学校間授業研究交流会による授業力の向上（R8年度はNIE研究発表会を兼ねる）

期日：11月20日（金）

会場：保倉小学校

2 全国学力学習状況調査及びNRTの結果分析と課題の共有

各校の成果と課題を分析し、各校の学力向上取組を共有します。

3 家庭学習の充実 各校による裁量

- (1) 「学年×10分」の徹底
- (2) 「家庭学習の手引き」「家庭学習カード」などの活用
- (3) スタディ&メディアコントロールの実施

4 規律のある落ち着いた学習習慣づくり

「学習の約束」（教育ハンドブック）を基にして各校で学習に取り組む姿勢を育てます。

一人1台のiPadの使い方のきまりを常に見直していきます。



5 6年生児童の春休み課題の統一と中学校での課題確認

共通課題を中学校に提出し、新1年生の学習状況を知る上での参考とします。

（ワークは直東学園より支出）

同和教育部会の取組

同和教育部では、一昨年度末に改訂した直江津東中学校区基底計画に基づき、児童生徒の実態に即した指導を推進します。本年度も同和教育の実践を積み重ね、さらに充実した教育活動を展開します。

1 教職員の人権感覚を高め、授業実践に生かすための研修の実施

同和教育の授業力向上は、教師自身が差別の現実を知り、差別に憤り、人権感覚を研ぎ澄ますことから始まります。そこで各校で現地学習会や講演会、研修会を実施し、授業実践に生かしていきます。



令和7年度 同和教育公開授業

2 児童生徒が差別と向き合い、自分の生き方を見つめ直す講演会の開催

昨年度に引き続き、10月26日に4小学校の6年生全員を対象に、徳島県在住の大湾昇（おおわんのぼる）さんを講師にお招きした講演会を実施します。時折ユーモアを交えながら本気で語りかけてくださる大湾さんの講演は、子どもたちが自分の生き方を見つめ直す機会になります。



令和7年度 大湾昇さん講演会

3 家庭、地域と連携した取組の推進

実践行動力に結び付く人権感覚を育むためには、学校と家庭・地域が、同一歩調で取り組むことが必要です。教職員、保護者、地域の皆様がともに学ぶ場を大切にし、地域全体で人権感覚を高めていきます。



令和7年度 人権講演会

春のあいさつ運動ありがとうございました。

4月6日（月）～15日（水）に実施したあいさつ運動のアンケート結果です。
今年も多くの皆様からご協力いただきありがとうございます。

1 立哨中に会った大人の方とあいさつを交わしましたか。 () は昨年度のアンケート結果です。

ア 交わした	イ 交わしたり交わさなかったりした	ウ 交わさなかった	無回答
86% (77%)	11% (23%)	3% (0%)	0% (0%)

2 立哨中に児童生徒に自分のほうからあいさつをしましたか。

ア 自分から先にした	イ 自分からしたり相手が先にしたりした	ウ 相手が先にした	無回答
51% (59%)	43% (36%)	6% (5%)	0% (0%)

3 期間中家庭内であいさつをしましたか。

ア 自分から先にした	イ 自分からしたり相手が先にしたりした	ウ 相手が先にした	無回答
40% (43%)	49% (49%)	3% (3%)	8% (5%)

直東学園運営協議会

5つの学校の学校運営協議会のメンバーが一堂に会して、令和8年度の学園運営協議会が開催され、役員、活動方針、計画、予算が承認されました。設立されてから今年で15年目を迎えました。



今後も地域をあげての応援をよろしく願います。

直江津東地域青少年育成会議総会

令和8年度の方針、計画、予算が承認されました。今年も地域部会、保護者部会、すこやかネットワーク部会、幼児教育部会、学園支援本部の5部会構成で進めていきます。みんなで、一緒に活動しませんか。



地域独自の予算

令和8年度の地域独自の予算が3月の市議会で可決されたため、直東学園として要望していた事業内容はすべて承認されました。

事業名は「直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業」です。

総事業費は約708万円です。市からの補助経費は637万2千円で、残りの自主財源約71万円は、地域の各支援組織から分担をいただき事業を展開いたします。

- 1 小・中学校共通活動で約303万円
- 2 4小学校共通活動で約200万円
- 3 各小学校独自の活動で約193万円
- 4 中学校独自の活動で約8万円

の支出予定です。

各学校から提案のあった各種活動を成功に導くための必要経費を準備できました。

また、この事業を進めていくために直江津東中学校においてある直東学園事務局が、手続きや支払い及び事業報告の各種事務を取扱うことで、先生方が子どもたちと向き合える時間を確保しています。

令和9年度の内容については、制度が少し変わる方向が示唆されました。今後もこの事業が持続できるよう取り組んでいきます。